

新年のごあいさつ



ことほ 新春を寿ぐ！

下野市議会議長 大島 将良



『新生文化都市』の 次なるステージへ向けて

下野市長 広瀬 寿雄

平成19年の新年を迎え、心よりお慶び申し上げます。

下野市は、1月10日で満一歳になります。市長に就任して5か月余り、多くの市民の皆さまの力強いご支援ご協力をいただきながら、市政に全力で取り組んでまいりました。

私は、円滑な市政運営と発展の基礎づくりを担う市長の重責に改めて思いをいたすとともに、職務を全うすべく日々邁進の決意を新たにいたしましたのであります。

今後、地方分権が進展していく中、個性豊かで魅力あるまちを築きあげるには、どのような取り組みを進めるのか、自ら選択し自ら責任を持つことが求められております。そのためには情報の共有化を進めることにより、市民と行政が共に考え決め、共に汗を流し行動し、協働による行政を目指すべく下野市の行政スタイルを構築していく所存であります。

平成18年度は合併直後であるため、各種事業の計画策定や旧町時代からの継続事業の早期完了に努めてまいりました。

平成19年度はまちづくりの長期的かつ総合的

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健康で希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様方の力強いご支援によりまして円滑な議会運営ができましたことを心から感謝し、改めて厚くお礼を申し上げます。

昨年の世界における出来事としては、イラクを取り巻く紛争、北朝鮮による核実験や拉致の問題が依然解決に至らず、国内では児童生徒を取り巻く環境において、連れ去りやいじめ、飲酒運転などによる残念な事件・事故が発生しており、一日も早い解決を願うものであります。

一方、明るい話題としてはトリノオリンピックのスケート競技において荒川静香選手がメダルを獲得したことや、待ち望まれた皇孫殿下の誕生などは国民に夢と希望を与えるものであり大変喜ばしい出来事でありました。

1月10日には、多くの先人達のためまぬ努力によって発展してきた各町の50年来の歴史に終止符がつけられ、新生文化都市・下野市が誕生いたしました。これまでに市民の皆様が力強い情熱により、多くの団体が足腰の強い団体へと生まれ変わって

な指針となる「総合計画」と「行政改革大綱」の早期策定や、集中改革プランの着実な履行と継続事業の早期完了等に取組みます。また、新市の均衡ある発展と市民の一体感の醸成に努めるとともに、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」を持つ複合多機能型の「道の駅」建設に向け、鋭意努めてまいりたいと考えています。

市の未来像を市民の皆様を示し、あわせて施策の実施に当たっては、費用対効果を厳しく検証し、さらにプラン・ドウ・チェック・アクションのPDCAサイクルにより、方向性と実効性を再評価しながら効率性を高め、より良き方向へ導くと同時に、財政面での無駄を省いていく所存であります。

市民の視点に立った行政運営と、新市の基礎づくりが私の責務であると考え、「思いやりと交流で創る 新生文化都市」の実現を目指します。市政に対する皆さまの一層のご支援ご協力により、未来に誇れる素晴らしいまちづくりを進めてまいります。

結びに、本年が市民の皆様方にとりましてご健勝で幸多い年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

おりますことを嬉しく思っております。

私たち市議会におきましては市民の皆様への負担に配慮するため、議員倫理等調査特別委員会を設置し、これまでに公職選挙法等の法令遵守や飲酒運転撲滅、さらには北朝鮮の核実験に抗議する決議を行って参りました。

現在は、3月議会での議員倫理条例の制定に向け議論を重ねており、自ら改革を進め行政執行へのチェック機能を向上させ、分権時代に期待される議会の役割を果たして参る所存であります。

さらに速やかな市民の一体感の醸成を図り足腰の強い「思いやりと交流で創る 新生文化都市・下野市」を目指し、皆さんと共に力強く歩みを進めて参る覚悟でありますので、なお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年も家族揃って健やかな生活を送ることができるよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。